

- 1 兄エサウの長子の権利を買う
- 2 母リベカの計画に従う：兄と父をだまして、父の祝福を受ける
- 3 兄から恨まれて、殺されそうになる。
- 4 母リベカの計画に従う：兄の怒りから逃げるために叔父のラバンの元へ身を隠す
- 5 旅の途中で全能の神に出会う：夢で天からのはしごを見る。神様を体験する。
アブラハム契約と守りと帰還の約束
ヤコブはその石に油を注ぎ、誓願を立て、「ベテル」と呼ぶ
- 6 叔父の家での20年間：何度も報酬を変えられ、過酷な労働を強いられた
神様は約束通り、ヤコブを守り、祝福された。子供12人と財産与えられる

➔ ベテルへの帰還

- 1 神様がヤコブに生まれ故郷に帰るように示される

創世記 31:13 わたしはベテルの神。あなたはそこで、石の柱に油をそそぎ、わたしに誓願を立てたのだ。さあ、立って、この土地を出て、あなたの生まれた国に帰りなさい。』

- 2 ヤコブは家族を連れてラバンの家を出る

➤ ヤコブは兄エサウに使いを送る

創世記 32:6 使者はヤコブのもとに帰って言った。「私たちはあなたの兄上エサウのもとに行って来ました。あの方も、**あなたを迎えに四百人を引き連れてやって来られます。**」

- b) ヤコブの恐れに対アする作戦

- 1 宿営を二つに分ける

32:7 **そこでヤコブは非常に恐れ、心配した。**それで彼はいっしょにいる人々や、羊や牛やらくだを二つの宿営に分けて、:8 「たといエサウが来て、一つの宿営を打っても、残りの一つの宿営はのがれられよう。」と言った。

- 2 神様に祈る

32:9 そうしてヤコブは言った。「**私の父アブラハムの神、私の父イサクの神よ。**かつて私に『あなたの生まれ故郷に帰れ。わたしはあなたをしあわせにする。』と仰せられた主よ。:10 私は**あなたがしもべに賜わったすべての恵みとまことを受けるに足りない者です。**私は自分の杖一本だけを持って、このヨルダンを渡りましたが、今は、二つの宿営を持つようになったのです。11 どうか私の兄、**エサウの手から私を救い出してください。**彼が来て、私をはじめ母や子どもたちまでも打ちはしないかと、**私は彼を恐れているのです。**12 あなたはかつて『わたしは必ずあなたをしあわせにし、あなたの子孫を多くて数えきれない海の砂のようにする。』と仰せられました。」

- 3 兄への贈り物を準備する

32:13 その夜をそこで過ごしてから、彼は手もとの物から兄エサウへの贈り物を選んだ。:14 すなわち雌やぎ二百頭、雄やぎ二十頭、雌羊二百頭、雄羊二十頭、15 乳らくだ三十頭とその子、雌牛四十頭、雄牛十頭、雌ろば二十頭、雄ろば十頭。

ヤコブは、私より先に行く贈り物によって彼をなだめ、そうして後、彼の顔を見よう。もしや、彼は私を快く受け入れてくれるかもわからない、と思ったからである。

4. 神と格闘する

32:24 ヤコブはひとりだけ、あとに残った。すると、ある人が夜明けまで彼と格闘した。25 ところが、その人は、ヤコブに勝てないのを見てとって、ヤコブのもものつがいを打ったので、その人と格闘しているうちに、ヤコブのもものつがいがはずれた。26 するとその人は言った。「わたしを去らせよ。夜が明けるから。」しかし、ヤコブは答えた。「私はあなたを去らせません。私を祝福してくださなければ。」27 その人は言った。「あなたの名は何というのか。」彼は答えた。「ヤコブです。」28 その人は言った。「あなたの名は、もうヤコブとは呼ばれない。**イスラエルだ**。あなたは神と戦い、人と戦って、勝ったからだ。」29 ヤコブが、「どうかあなたの名を教えてください。」と尋ねると、その人は、「いったい、なぜ、あなたはわたしの名を尋ねるのか。」と言って、その場で彼を祝福した。:30 そこでヤコブは、**その所の名をベヌエルと呼んだ**。「**私は顔と顔とを合わせて神を見たのに、私のいのちは救われた**。」という意味である。31 彼がベヌエルを通り過ぎたころ、太陽は彼の上に上ったが、**彼はそのものためにびっこをひいていた**。32 それゆえ、イスラエル人は、今日まで、もものつがいの上の腰の筋肉を食べない。あの人がヤコブのもものつがい、腰の筋肉を打ったからである。

1. ヤコブは一人残った。
2. ある人が夜明けまで彼と格闘した。【レスリング；神様にしがみつく】
格闘：激しい肉体的・霊的な闘いは、信者が神との関係で直面する困難や試練の比喻
3. ヤコブのもものつがいを打たれ、はずれる。
肉体的な弱さを体験する。自分の力ではどうしようもないことを認める時。
4. ヤコブは、「私はあなたを去らせません。私を祝福して下さいさなければ」と粘った。【忍耐】
神の介入を求め続ける。困難にあっても、あきらめない。
5. ヤコブの名前が変えられる「ヤコブからイスラエルへ」【新しいアイデンティティ】
神の君主として共に戦い、人に勝利する者へと変えられる。
6. ヤコブは神様から祝福を受ける。

II コリント 12:9 しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、**わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである**。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。

➔ 新しいアイデンティティが与えられたヤコブ

「ヤコブ」（かかとをつかむ者、だます者）から「イスラエル」（神が戦う、神の支配）へ
恐れは自分の力や策略では克服できない。神様に対する信仰と介入によりのみ勝利できる。
ヤコブは、自分で戦ってきた人生から勝利して、神様の力によって生きる者とされた。神様が戦う、神様の支配の元におかれる人生へと変えられました。

☆ 聖霊様に導かれる人生です。肉の力ではなく、聖霊様に祈り、聞き、歩んで行く人生へ。

➔ 恐れとの闘いの勝利

1. 信仰の戦いの祈り：一人で主に向かう時を持つ
2. 自己の弱さを自覚する【もものつがいを打たれるように、自我が碎かれる経験】
3. 神様の祝福の確信を受けるまで祈りつづける。
4. 神様の介入【ヤコブは神様から祝福を受け、恐れから解放されました】

➔ 恐れがありますか？

神様と格闘して祈りましょう。自分の力で人を操作しても、恐れは消え去りません。

神様の前で静かに、自分を謙遜にして、弱さを主の前に出してまいりましょう。

主の恵みと哀れみに満たされ、恐れから解放されていきます。

自分の力ではなく、主の御支配の中で、主の介入を待ちのぞみ、勝利して参りましょう。

聖霊様の満たしを求めましょう。